

令和6年度事業計画

(公財)練馬区文化振興協会は、以下の方針を基本的な考え方として令和6年度の事業計画を策定します。

- 1 公益財団法人練馬区文化振興協会経営計画に基づき、社会生活の変化に柔軟に対応しながら、身近な暮らしの中で質の高い文化芸術に触れられる機会を継続して提供していきます。
- 2 練馬区は、グランドデザイン構想に示す将来像の実現に向けて、令和6年度から10年度の政策展開を明らかにする「第3次みどりの風吹くまちビジョン」を令和6年3月に策定します。協会は区の文化芸術施策の方向性を下支えするため、区と密接に連携し、事業展開をしていきます。
- 3 練馬文化センターは大規模改修工事を経て、令和6年5月より再開する予定です。

協会が常に発信している「質の高い文化芸術を区民の皆様に届けたい」という考えを、音楽、映像事業、美術および伝統文化など、各事業の中で具現化します。

公益目的事業

I 文化芸術活動の振興、促進（定款第4条第1項第1号、第2号および第5号）

地域における自主的な文化芸術活動を促進し、また文化芸術の裾野を広げるため、区内文化団体への活動支援を行うとともに、区民に向けて情報をひろく発信していく。

1 文化芸術活動の支援事業

- (1) 練馬区ジュニア・オーケストラ事業
- (2) 練馬交響楽団活動支援事業
- (3) 文化団体活動支援事業

2 文化芸術活動の普及および発信事業

- (1) 協会ホームページおよびSNS等による情報発信

II 練馬区から受託する事業

- (1) 真夏の音楽会 vol. 7
- (2) みどりの風 練馬薪能
- (3) 映像文化事業

III 練馬文化センター、大泉学園ホールの事業（定款第4条第1項第4号）

練馬文化センターおよび大泉学園ホールでは、都心に行かずとも質の高い文化芸術を楽しめる、練馬ならではの地域性・独自性を有した文化発信拠点として、音楽および舞台公演を中心に、区民が文化芸術に触れる機会と区民の自主的な文化活動への支援、そして交流の場を提供する。

令和6年度は大規模改修工事を終え、練馬文化センターが再開する。クラシックを中心とした音楽事業や伝統文化事業を継続するほか、多目的ホールの特性を生かし、演劇や演芸そしてポップスなど多岐にわたるジャンルに取り組み、区民のニーズに応える。

公益目的事業

1 音楽事業

- (1) 質の高いクラシックコンサート
 - ① 一流クラシック（リニューアル記念公演）
 - ② フレッシュ名曲コンサート
 - ③ 厳選！ヴィルトゥオーザ・シリーズ

- (2) 音楽を誰もが身近に楽しめる取組
 - ① アトリウムミニステージ
 - ② お届け！ねりぶん音楽便

2 伝統文化事業

- (1) 能楽公演の定期的な実施
 - ① 能楽公演（狂言・リニューアル記念公演）
 - ② 能狂言のタベ

- (2) 子どもが能・狂言を体験する機会の提供
 - ① 小学校狂言師派遣事業
 - ② 小学校能楽師派遣事業

- (3) 能楽講座
 - ① 連続講座
 - ② 能狂言のタベ プレ講座

3 その他文化ホールとしての取組

- ① 第148回練馬区民寄席
- ② イッセー尾形の右往沙翁劇場
- ③ ワークショップ「オペラをつくろう！」
- ④ ポップス公演（仮）
- ⑤ パシフィックフィルハーモニア東京
- ⑥ 演劇ワークショップ
- ⑦ 演劇「百物語」
- ⑧ ねりぶんJAZZ
- ⑨ 松竹大歌舞伎
- ⑩ キーウ・クラシック・バレエ
- ⑪ よしもとお笑いまつり
- ⑫ みんなの和太鼓コンサート（仮）
- ⑬ 全日本ポップス＆ジャズバンドグランプリ大会 等

4 区民の文化芸術活動・団体の支援

- (1) 練馬区演奏家協会コンサート
- (2) 練馬区演奏家協会事務局運営
- (3) 演奏家等派遣事業
- (4) 演奏家等あっせん事業
- (5) 舞台芸術支援事業

5 広報業務

- (1) 練馬文化センター友の会事業
- (2) ホームページ整備
- (3) SNS の活用

6 施設貸出事業

- (1) 練馬文化センター
大ホール、小ホール、ギャラリー、リハーサル室、集会室等
- (2) 大泉学園ホール
ホール、ギャラリー

7 練馬文化センター等の施設管理

- (1) 練馬区立練馬文化センター

[開設日]

昭和 58(1983)年 4 月

[所在地および規模等]

所在地 練馬区練馬一丁目 17 番 37 号

敷 地 6,812.65 m²

建 物 地下 1 階 地上 4 階 13,110.74 m²
(練馬区備蓄倉庫併設 145.80 m²)

施設内容 大ホール、小ホール、楽屋、ギャラリー、リハーサル室、集会室、保育室、事務室ほか

- (2) 練馬区立大泉学園ホール

[開館日]

平成 14(2002)年 2 月

[所在地および規模等]

所在地 練馬区東大泉一丁目 29 番 1 号 ゆめりあ 1 5~7 階

延床面積 1994.49 m²

施設内容 ホール、主催者控室、楽屋、ギャラリー、展示準備室ほか

収益事業等

1 物品等販売事業

- (1) 自動販売機による飲料等の販売

IV 練馬区立美術館の事業（定款第4条第1項第4号）

練馬区立美術館（以下「美術館」という。）は、美術に関する区民の知識および教養の向上を図り、もって区民文化の発展に寄与することを目的に昭和60年（1985年）10月に開館した。

これまで日本の近現代美術を中心に、浮世絵や西洋絵画、現代アート等の新たな視点も加え、区立美術館ならではの特色ある展覧会を開催してきた。

令和6年度は、新聞やチラシなどの印刷物を陶を用いて立体化するユニークな作品により、国際的にも高く評価されている美術家・三島喜美代の70年にわたる創作活動の軌跡を概観する「三島喜美代—未来への記憶」展、新美術館の設計を担う建築家・平田晃久の建築観とともに新美術館への展望を紹介する「平田晃久一人間の波打ちぎわ」展および令和5年6月に逝去した練馬区名誉区民の画家・野見山暁治の業績を当館の所蔵作品から紹介する「追悼 野見山暁治」展（仮称）を開催する。

また、令和7年3月には「トーク・トーク 40年のコレクションと展覧会」（仮称）を開催し、美術館ゆかりのゲストとのトークイベント等により、これまでのコレクションと展覧会を振り返る。

さらに、展覧会関連の講演会やワークショップ、美術館の外で行うワークショップ「アート de ねりまち」等により充実した教育普及事業を実施する。

公益目的事業

1 展覧会事業

（1）展覧会等

- ① 「三島喜美代展—未来への記憶」展
- ② 「平田晃久一人間の波打ちぎわ」展
- ③ 「追悼 野見山暁治」展（仮称）
- ④ 「トーク・トーク 40年のコレクションと展覧会」（仮称）

（2）その他の展覧会

美術家協会展、区民美術展等

2 教育普及事業

（1）展覧会関連事業

- ① ワークショップ・講座
- ② 鑑賞プログラム
- ③ 展示解説（ギャラリートーク・アーティストトーク）
- ④ 講演会・シンポジウム等
- ⑤ ミュージアムコンサート等

（2）ネリビラボ

（3）アート de ねりまち

（4）施設等紹介事業

- ① 館内探検
- ② 所蔵品紹介

（5）学校関連事業

- ① スクールプログラム（団体鑑賞、施設見学、職場体験、出張プログラム）

- ② ティーチャーズデイ
- ③ 団体鑑賞プログラム（団体バス派遣）
- ④ 学芸員実習等受入れ

3 記念サービス事業

併設の貫井図書館と共同で実施する利用者向けの一時託児サービス

4 地域連携事業

- ① 貫井図書館共催ワークショップ
- ② サポーター事業（資料整理活動等）
- ③ 近隣商店街との連携

5 資料収集・整理、保存事業

- (1) 資料の収集業務（一次的候補の抽出）、整理・保管
- (2) 収蔵・展示の環境整備
- (3) レファレンス対応
- (4) 資料等の調査・研究

6 広報業務

- (1) 練馬区立美術館ニュースの発行
- (2) ホームページ整備
- (3) SNS の活用

7 施設貸出事業

- (1) 創作室（通年）
- (2) 一般展示室（通年）

8 美術館の施設管理

[開館日、施設の位置づけ]

昭和 60（1985）年 10 月に開館。当初は登録博物館であったが、平成 24（2012）年に練馬区教育委員会から区長部局への所管換えが行われ、以降博物館相当施設となる。

[所在地および規模等]

- | | |
|------|---|
| 所在地 | 練馬区貫井一丁目 36 番 16 号（練馬区立貫井図書館との併設） |
| 建 物 | 鉄骨、鉄筋コンクリート造、一部鉄筋コンクリート造 |
| | 地上 3 階地下 1 階 4,359 m ² （美術館部分 2,928 m ² ） |
| 施設内容 | 常設展示室、企画展示室、一般展示室、創作室、収蔵庫、研究室、事務室ほか |

V 練馬区立石神井公園ふるさと文化館の事業（定款第4条第1項第4号および第2項）

練馬区立石神井公園ふるさと文化館（以下「ふるさと文化館」という。）は、練馬区で育まれてきた文化の継承および発展を図り、新たな地域文化の創造および観光振興に寄与することを目的とした博物館（博物館類似施設）として、平成22（2010）年3月に開館した。隣接する区立池淵史跡公園内に移築復元した茅葺き屋根の古民家「旧内田家住宅」（練馬区指定有形文化財）とともに、4年間区が運営を行ってきたが、平成26（2014）年4月から、新たに練馬区立石神井松の風文化公園管理棟に開設した分室（練馬の文化人関連事業を展開）とあわせて、当協会が指定管理者として運営を行っている。

公益目的事業

1 展示事業

（1）常設展示

- ① 江戸・東京近郊のくらし
- ② 練馬区指定・登録文化財の紹介
- ③ わがまち練馬情報コーナー
- ④ 新収蔵資料の展示
- ⑤ 練馬区ゆかりの文化人の紹介
- ⑥ 五味康祐資料展示
- ⑦ 展示解説会

（2）旧内田家住宅保存展示

- ①旧内田家住宅保存展示
- ②季節展示（五月人形飾り、七夕飾り等）

（3）展覧会

- ① 特別展
 - ア 魔法の部屋 トリックアートの世界
 - イ 大漫会の漫画家たち—石神井公園の桜の下での交流—（仮称）
- ② 企画展
 - ア 昔の道具展（仮称）
 - イ 石神井（仮称）

（4）展示関連事業

- ① 展覧会ごとに展示解説会、イベント等
- ② 協会運営施設との連携事業

（5）その他展示

- ① 東京文化財ウィーク
- ② ねりま手工芸公募展（実行委員会形式）
- ③ ホタル生態展示
- ④ ギャラリー展示

2 教育普及事業

（1）講座事業

- ① ふるさと文化講座
 - ② ワークショップ
- (2) 体験型事業
- ① 季節体験事業
 - ② 夏休み事業
 - ③ 区内散策事業（旧周辺散策事業）
- (3) 音楽・オーディオ関連事業
- ① 五味康祐のオーディオで聴くレコードコンサート
 - ② 五味康祐の資料を用いた試聴会
 - ③ 収蔵資料を活用したコンサート
(ピアノや蓄音器、石神井西尋常小学校のリードオルガン等)
 - ④ 区内大学との連携コンサート
- (4) サポーター協働事業
- ① 交流活動
 - ② 企画事業
 - ③ 古民家大掃除
 - ④ 学習会・交流会
 - ⑤ 自主的活動への支援、場の提供
- (5) 学校関連事業
- ① 団体見学等の受け入れ
 - ② 職場体験
 - ③ 博物館実習
 - ④ インターンシップ等受け入れ
 - ⑤ 講師派遣による地域文化の伝承
- (6) 地域団体との連携事業
- ① 講師派遣による協力
 - ② 地域文化・芸術団体との連携（作品等の常設展示室月替展示等）
 - ③ 地域の小・中学校の文化・芸術活動との連携
 - ④ 区立図書館との連携
 - ⑤ 石神井公園商店街との連携
 - ⑥ 都立石神井公園との連携
- (7) 区への協力

3 資料収集・保管、調査・研究

- (1) 資料の収集（一次的候補の抽出）、整理・保管
- (2) 収蔵・展示の環境整備
- (3) レファレンス対応
- (4) 調査・研究（研究紀要の隔年発行）
- (5) 資料特別利用対応

4 広報業務

- (1) 年報の発行
- (2) ふるさと文化館ニュースの発行
- (3) ホームページ整備
- (4) SNS の活用
- (5) ふるさと文化館スタンプラリーの実施

5 施設貸出事業

- (1) 多目的会議室
- (2) 会議室
- (3) 企画展示室
- (4) ギャラリー
- (5) 展示用ボックス

6 ふるさと文化館および分室の施設管理

- (1) 練馬区立石神井公園ふるさと文化館

[所在地および規模等]

所在地 練馬区石神井町五丁目12番16号

敷 地 3,562.71m²

(石神井プール、池淵史跡公園を含めた面積14,860m²)

建 物 鉄骨造 地上2階 3,474.62m²

(池淵史跡公園内旧内田家住宅分 木造平屋 199.91m²)

施設内容 常設展示室、企画展示室、情報コーナー、交流ライブラリー、
多目的会議室、会議室、収蔵庫3室、池淵史跡公園内旧内田家住宅、
駐車場3台(内身体障害者用1台)、バス寄せ・駐輪場 約300台

- (2) 練馬区立石神井公園ふるさと文化館分室

[所在地および規模等]

所在地 練馬区石神井台一丁目33番44号

建 物 練馬区立石神井松の風文化公園管理棟の一部 531.53m²

※分室は、練馬区立石神井松の風文化公園管理棟(延床面積 2,377.91m²
地上2階建)内の展示準備室、展示室4室、収蔵庫等

収益事業等

1 物品等販売事業

- (1) 自動販売機による飲料等の販売